

経営比較分析表（平成28年度決算）

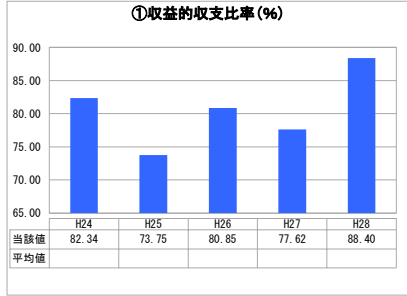
岐阜県 七宗町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	個別排水処理	L2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	22.39	100.00	3,400

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
4,038	90.47	44.63
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
893	0.03	29,766.67

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 平成28年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



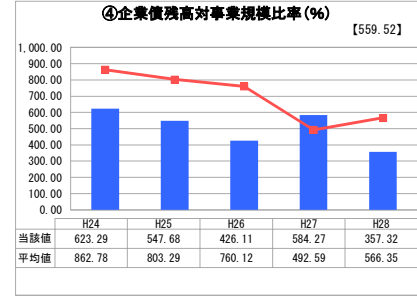
「単年度の収支」



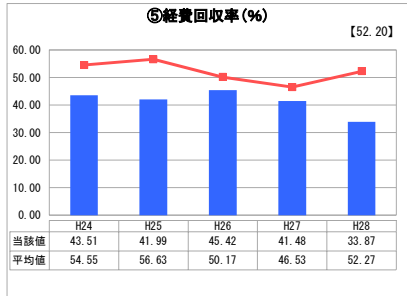
「累積欠損」



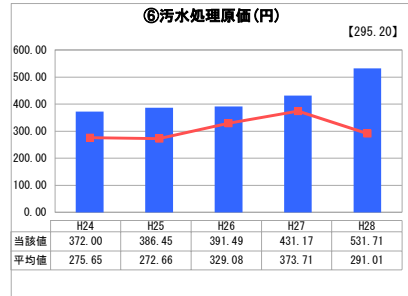
「支払能力」



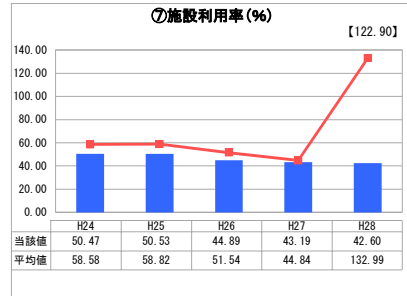
「債務残高」



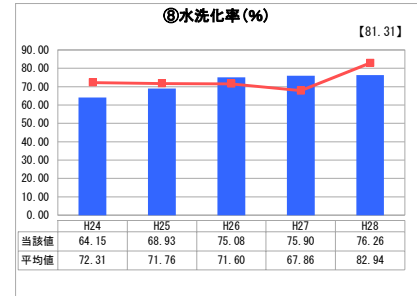
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

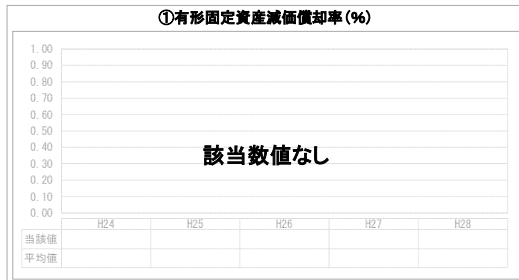


「施設の効率性」

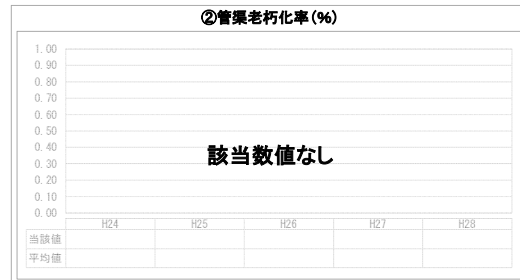


「使用料対象の捕捉」

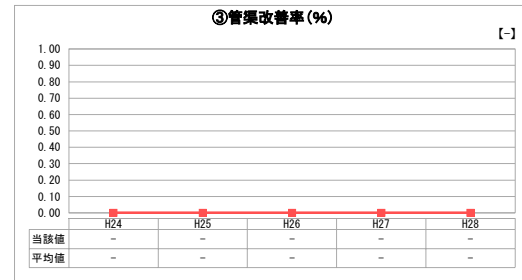
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

個別排水事業は、家屋面積に比例するため、比較的大きな人槽の施設が設置されており、減少する人口に対して、個々には過大な設備となりつつあります。そのため、維持管理費及び汚水処理原価が高額となっています。今後とも人口の減少が懸念されるため、経費の回収率が低くなる考えられますが、一部で若年層の定住や新規の戸建建築もあるため、新規設置や接続率の向上もあります。

2. 老朽化の状況について

維持管理会社と連携を密に図り、合併処理浄化槽本体はもとより、700などの付帯設備を含めて既存施設及び機器の安定的な稼働と長寿命化に努めています。

全体総括

事業の健全経営のため、策定した経営戦略を基に運営をします。また、今後とも、未接続世帯の接続促進に努め健全経営を目指します。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。